

## 2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年2月13日

上場会社名 株式会社アンビションDXホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 3300 URL <https://www.am-bition.jp>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 剛  
問合せ先責任者(役職名) 執行役員兼経営管理部部長 (氏名) 尾関 文宣 (TEL) 03-6439-8905  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年6月期第2四半期	19,144	11.3	990	24.5	890	20.3	535	26.3
2023年6月期第2四半期	17,206	18.4	795	46.7	740	46.1	423	58.3

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 555百万円(39.5%) 2023年6月期第2四半期 398百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	77.87	74.56
2023年6月期第2四半期	62.27	61.45

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2024年6月期第2四半期	23,453	5,006	21.3	725.93
2023年6月期	20,516	4,600	22.3	667.24

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 4,988百万円 2023年6月期 4,584百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	37,760	4.2	2,006	25.1	1,677	13.2	1,104	14.9	160.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年6月期2Q	6,872,200株	2023年6月期	6,871,000株
2024年6月期2Q	93株	2023年6月期	93株
2024年6月期2Q	6,871,364株	2023年6月期2Q	6,804,352株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としての約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は2024年2月22日(木)に機関投資家・個人投資家向け、2024年2月27日(火)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、個人消費や雇用情勢が回復傾向を見せ、緩やかな回復基調が続いていますが、金融資本市場の変動、エネルギー価格の高止まりや原材料高騰による物価上昇等により、将来的な見通しは不透明な状態が継続しております。

このような事業環境の中、当社グループはDX（デジタルトランスフォーメーション）によって自社の事業変革と自社の属する不動産業界全体の変革を目指し、ビジョンとして「DXによって不動産ビジネスを変革し、デジタルとリアルを融合した唯一の不動産デジタルプラットフォームになる」を掲げております。ビジョン達成に導く3大方針を「DX推進による事業変革」「M&A推進など、非連続な業容拡大への取組み」「新たな不動産DXプロダクトの開発・販売による業界変革」とし、2026年6月期には、売上高500億円、営業利益30億円の経営成績を実現する計画を立てております。

当第2四半期連結累計期間において、主力の賃貸DXプロパティマネジメント事業は、管理戸数の増加を進めると同時に、次世代管理システム『AMBITION Cloud』により、管理受託や退去されるお部屋の物件募集までの生産性が向上したことに加え、リーシング力が向上した結果、過去最高の売上と営業利益を達成いたしました。

賃貸DX賃貸仲介事業は、DX施策及び繁忙期に向けた人員の増加により、売上高は増加した一方、人材及び店舗出店（前年同期比2店舗増）等の投資により、営業利益は減少いたしました。

売買DXインベスト事業は、順調に新築マンションの引渡し完了し、当第2四半期連結累計期間において計画通りとなりました。

新たな成長ドライバーである不動産DX事業は、主に入居者DXアプリ『AMBITION Me』の開発を進め、入居者の満足度とエンゲージメントの向上、LTV（顧客生涯価値）の最大化を実現いたします。また、M&Aやアライアンスの推進も積極的に検討しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,144,148千円（前年同期比11.3%増、1,937,230千円増）、営業利益は990,332千円（前年同期比24.5%増、195,082千円増）、経常利益は890,458千円（前年同期比20.3%増、150,080千円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は535,088千円（前年同期比26.3%増、111,348千円増）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### （賃貸DXプロパティマネジメント事業）

当事業は、主に住居用不動産の転貸借（サブリース）を行う当社グループ主力の事業で、管理戸数の増加及び高入居率の維持を基本方針としております。不動産賃貸管理に関わるあらゆる業務をDXする『AMBITION Cloud』により、業務効率化と生産性向上を実現しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、管理戸数については25,522戸（前年同期比1,002戸増）、サブリース管理戸数については14,456戸（前年同期比646戸増）と順調に増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末時点のサブリース入居率は96.4%（前年同期末は97.2%）となりました。DX施策により、売上高・利益率共に大幅に増加しております。

その結果、売上高は9,866,789千円（前年同期比5.8%増、538,833千円増）、セグメント利益（営業利益）は833,788千円（前年同期比32.7%増、205,449千円増）となりました。

#### （賃貸DX賃貸仲介事業）

当事業は、当社の管理物件を中心に賃貸物件の仲介事業を行っております。子会社のアンビション・エージェンシー（『ルームピア』を運営）、及び同アンビション・パロー（『パロー』を運営）にて、都内9店舗、神奈川県8店舗、埼玉県1店舗の計18店舗を展開しております。当事業のリーシング力の高さが主力のプロパティマネジメント事業における高入居率の維持に貢献しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、AI×RPAツール『ラクテック』の活用により、引き続き入力業務の人員抑制・反響数のアップに取り組んでおります。また、広告戦略の強化によるWEB集客、リモート接客・VR内見などの集客施策に加え、ブロックチェーン（分散型台帳）技術を活用した当社独自の電子サイン『AMBITION Sign』による電子契約パッケージなどの非対面サービスの強化により、お部屋探しにおける顧客の体験価値向上を実現してお

ります。当該施策及び繁忙期に向けた人員の増加（前年同期比46名増）、人材育成が奏功したことにより、売上高は増加した一方、人材及び店舗出店（前年同期比2店舗増）等により、セグメント損失は拡大しました。

その結果、売上高は359,523千円（前年同期比9.9%増、32,423千円増）、セグメント損失（営業損失）は70,487千円（前年同期は56,816千円のセグメント損失）となりました。

#### （売買DXインベスト事業）

当事業は、「立地」「デザイン」「設備仕様」にこだわった自社開発の新築投資用デザイナーズマンション販売を中心に展開する子会社のヴェリタス・インベストメント（以下、ヴェリタス）と、多様なルートからの物件仕入れ力により、立地を重視した分譲マンションのリノベーション販売を中心に展開する当社インベスト部で行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、計画通りに進捗し、当第2四半期連結累計期間の売却戸数はヴェリタス139戸（前年同期比17戸減）、当社インベスト部は、堅実にリスクを見据えた上での仕入れを強化するとともに、高い在庫回転率を維持しており、当第2四半期連結累計期間の売却戸数は48戸（前年同期比8戸増）となりました。

その結果、売上高は8,426,361千円（前年同期比15.3%増、1,118,112千円増）、セグメント利益（営業利益）は1,200,621千円（前年同期比9.8%増、107,425千円増）となりました。

#### （インキュベーション事業）

当事業は、当社グループと親和性の高い事業を行うベンチャー企業への投資、資本業務提携、投資先企業の支援などを子会社アンビション・ベンチャーズが行っております。

当第2四半期連結会計期間末時点では、30社のベンチャー企業に投資を行っております。当第2四半期連結累計期間におきましては、新たに2社への投資を実行いたしました。当第2四半期連結累計期間においては、投資有価証券の一部を売却しております。

その結果、売上高は2,349千円（前年同期比335.8%増、1,810千円増）、セグメント損失（営業損失）は12,163千円（前年同期は36,341千円のセグメント損失）となりました。

#### （その他事業）

不動産DX事業（システム開発の海外子会社を含む）、少額短期保険事業、ZEH・ライフライン事業を総じて、その他事業としております。

不動産DX事業では、賃貸管理の次世代管理システム『AMBITION Cloud』を海外子会社のアンビションベトナムなどで開発し、社内DXを優先して推進しております。賃貸DXプロパティマネジメント事業は『AMBITION Cloud』により、契約進捗管理、修繕管理、募集管理等、不動産賃貸管理業務に係る様々なシステムを開発しており、大幅な業務効率化と生産性向上を実現しております。また、IT重説とブロックチェーン（分散型台帳）技術を活用した当社独自の電子サイン『AMBITION Sign』との連携による電子契約パッケージを賃貸DX事業に提供しております。さらに、入居者DXアプリ『AMBITION Me』の開発を進め、入居・更新・退去に至るまでお客様とつながり続けることで、提供を開始したオンライン診療など様々なサービスを提供することが可能となり、新たな事業展開を見込んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、『AMBITION Me』により、オンライン診療の提供を開始いたしました。また、『AMBITION Me』に『Generative AI』を活用したFAQの機能を拡充するなど、新たな技術を活用しております。当社グループ初のBtoCマッチングサービスであるお部屋探しアプリ『ルムコン』は、登録ユーザー数を36,060ユーザー（前年同期比138.2%増）と伸ばしております。少額短期保険事業では、当第2四半期連結累計期間におきましても順調に新規契約を獲得するとともに、申込みから支払いまでペーパーレスで完結できる当社子会社開発システム『MONOLITH（モノリス）』によって当社グループのDX推進の一端を担っております。ZEH・ライフライン事業では、蓄電池、太陽光発電、外壁塗装など電力創出・省エネルギー設備の営業を行うZEH（Net Zero Energy House）事業と電気・ガス提供会社の開設・切替の取り次ぎ、ウォーターサーバーなどの営業を行うライフライン事業を子会社の株式会社DRAFTにて行っております。弊社管理物件の入居者や賃貸仲介の顧客に対しサービス提供を行うなど、賃貸DX事業とのシナジー効果を創出しております。

その結果、売上高は489,124千円（前年同期比101.2%増、246,049千円増）、セグメント損失（営業損失）は30,938

千円(前年同期は66,676千円のセグメント損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は23,453,148千円となり、前連結会計年度末に比べ2,936,561千円増加いたしました。これは主に、販売用不動産が4,255,821千円、土地が679,249千円、建物及び構築物が404,424千円増加し、仕掛販売用不動産が2,868,725千円、のれんが87,623千円、投資有価証券が28,059千円減少したことによるものであります。

負債合計は18,446,843千円となり、前連結会計年度末に比べ2,531,199千円増加いたしました。これは主に短期借入金金が1,513,482千円、長期借入金金が1,430,221千円、営業未払金が752,377千円増加し、1年内返済予定の長期借入金金が1,317,919千円、未払費用が60,186千円、1年内償還予定の社債が47,500千円減少したことによるものであります。

純資産合計は5,006,305千円となり、前連結会計年度末に比べ405,361千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が383,928千円、その他有価証券評価差額金が20,613千円増加したことによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて118,317千円増加し、5,689,946千円となりました。

各活動区分別のキャッシュ・フローの状況及び主な要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、925,541千円の収入(前年同期は800,356千円の収入)となりました。主なプラス要因は、仕掛販売用不動産の減少2,868,725千円、税金等調整前四半期純利益890,458千円、仕入債務の増加750,967千円であり、主なマイナス要因は、販売用不動産の増加3,625,306千円、法人税等の支払額324,366千円、利息の支払額74,417千円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,218,285千円の支出(前年同期は1,207,159千円の支出)となりました。主なマイナス要因は、有形固定資産の取得1,996,611千円、差入保証金の差入137,842千円、無形固定資産の取得77,302千円であり、主なプラス要因は、定期預金の払戻10,000千円があったこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,412,211千円の収入(前年同期は213,417千円の収入)となりました。主なプラス要因は、長期借入れ2,767,300千円、短期借入れ1,513,482千円であり、主なマイナス要因は、長期借入金の返済2,654,997千円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、2023年8月14日に公表した2024年6月期連結業績予想数値に対して、現時点では連結業績予想数値を据え置いております。

今後は、修正が必要と判断した場合には速やかにお知らせする予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,639,629	5,757,946
営業未収入金	318,538	346,606
販売用不動産	2,817,537	7,073,358
仕掛販売用不動産	5,322,704	2,453,978
貯蔵品	9,752	9,194
営業投資有価証券	240,225	307,957
その他	582,084	813,589
貸倒引当金	△28,375	△45,928
流動資産合計	14,902,096	16,716,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	891,079	1,295,503
土地	2,545,044	3,224,294
その他（純額）	27,868	34,710
有形固定資産合計	3,463,992	4,554,508
無形固定資産		
のれん	908,869	821,246
その他	194,351	230,797
無形固定資産合計	1,103,221	1,052,044
投資その他の資産		
投資有価証券	97,412	69,353
差入保証金	150,595	210,987
繰延税金資産	279,694	311,203
その他	538,795	567,932
貸倒引当金	△21,498	△31,033
投資その他の資産合計	1,045,000	1,128,443
固定資産合計	5,612,214	6,734,996
繰延資産		
社債発行費	2,276	1,448
繰延資産合計	2,276	1,448
資産合計	20,516,587	23,453,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	443,093	1,195,470
短期借入金	2,200,250	3,713,732
1年内返済予定の長期借入金	3,058,988	1,741,068
1年内償還予定の社債	125,400	77,900
未払金	137,740	99,378
未払費用	332,027	271,840
未払法人税等	335,729	396,434
未払消費税等	26,277	69,692
前受金	1,476,692	1,554,417
営業預り金	230,239	238,955
賞与引当金	2,000	81,026
その他	153,314	190,016
流動負債合計	8,521,753	9,629,934
固定負債		
社債	49,900	33,200
長期借入金	6,553,908	7,984,130
長期預り保証金	719,559	724,898
繰延税金負債	—	9,700
その他	70,520	64,979
固定負債合計	7,393,889	8,816,908
負債合計	15,915,643	18,446,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,508	401,899
資本剰余金	483,957	484,348
利益剰余金	3,691,252	4,075,181
自己株式	△99	△99
株主資本合計	4,576,619	4,961,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,263	27,877
為替換算調整勘定	631	△564
その他の包括利益累計額合計	7,895	27,312
新株予約権	2,928	2,926
非支配株主持分	13,500	14,735
純資産合計	4,600,943	5,006,305
負債純資産合計	20,516,587	23,453,148



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	17,206,917	19,144,148
売上原価	14,089,424	15,396,932
売上総利益	3,117,492	3,747,215
販売費及び一般管理費	2,322,242	2,756,882
営業利益	795,250	990,332
営業外収益		
受取利息	31	27
受取配当金	84	58
受取手数料	0	0
投資事業組合運用益	2,433	2,635
補助金収入	17,610	333
雑収入	2,753	4,484
営業外収益合計	22,914	7,539
営業外費用		
支払利息	63,086	77,724
社債発行費償却	872	827
為替差損	99	72
支払手数料	12,865	26,889
雑損失	862	1,898
営業外費用合計	77,787	107,413
経常利益	740,378	890,458
特別利益		
投資有価証券売却益	3,738	—
特別利益合計	3,738	—
特別損失		
固定資産除却損	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	744,110	890,458
法人税、住民税及び事業税	336,502	385,412
法人税等調整額	△16,371	△31,277
法人税等合計	320,131	354,135
四半期純利益	423,979	536,323
非支配株主に帰属する四半期純利益	240	1,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	423,739	535,088

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	423,979	536,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,998	20,613
為替換算調整勘定	△701	△1,196
その他の包括利益合計	△25,700	19,417
四半期包括利益	398,278	555,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	398,038	554,505
非支配株主に係る四半期包括利益	240	1,235

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	744,110	890,458
減価償却費	63,872	95,357
のれん償却額	70,183	87,623
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,024	27,088
賞与引当金の増減額(△は減少)	△195	79,026
普通責任準備金の増減額(△は減少)	22,380	△3,644
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,738	—
受取利息及び受取配当金	△116	△85
社債発行費償却	872	827
支払利息	63,086	77,724
固定資産除却損	6	—
投資事業組合運用益	△2,433	△2,635
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	28,661	△41,004
売上債権の増減額(△は増加)	△47,820	△37,408
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11	2,895
販売用不動産の増減額(△は増加)	391,107	△3,625,306
仕掛販売用不動産の増減額(△は増加)	247,919	2,868,725
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△6,698	17,072
営業預り金の増減額(△は減少)	27,401	8,716
前受金の増減額(△は減少)	12,198	77,725
前払費用の増減額(△は増加)	△41,992	△2,574
仕入債務の増減額(△は減少)	△221,259	750,967
未払費用の増減額(△は減少)	△39,511	△60,643
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,570	43,415
その他	△76,346	69,918
小計	1,195,131	1,324,240
法人税等の支払額	△336,432	△324,366
利息及び配当金の受取額	116	85
利息の支払額	△58,459	△74,417
営業活動によるキャッシュ・フロー	800,356	925,541
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△32,500	△15,000
定期預金の払戻による収入	30,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△1,276,537	△1,996,611
無形固定資産の取得による支出	△46,050	△77,302
投資有価証券の取得による支出	△50,158	△1,105
投資有価証券の売却による収入	7,566	96
出資金の払込による支出	—	△3,341
出資金の回収による収入	101,985	5,671
差入保証金の差入による支出	△4,473	△137,842
差入保証金の回収による収入	63,936	52
その他	△926	△2,901
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,207,159	△2,218,285

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	869,182	1,513,482
長期借入れによる収入	2,014,700	2,767,300
長期借入金の返済による支出	△2,583,880	△2,654,997
社債の発行による収入	98,900	—
社債の償還による支出	△54,500	△64,200
新株発行による収入	—	781
配当金の支払額	△128,983	△150,153
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	213,417	1,412,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	△659	△1,150
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△194,045	118,317
現金及び現金同等物の期首残高	5,148,939	5,571,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,954,893	5,689,946

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	賃貸DX プロパティ マネジメント 事業	賃貸DX 賃貸仲介 事業	売買DX インベスト 事業	インキュベ ーション 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,327,955	327,099	7,308,248	539	16,963,842	243,075	17,206,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,308	89,044	—	—	99,352	13,895	113,248
計	9,338,263	416,144	7,308,248	539	17,063,195	256,970	17,320,165
セグメント利益又は損失(△)	628,338	△56,816	1,093,195	△36,341	1,628,377	△66,676	1,561,700

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産DX事業(システム開発の海外子会社を含む)、少額短期保険事業、ホテル事業を表示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,628,377
「その他」の区分の利益	△66,676
全社費用(注)	△766,450
四半期連結損益計算書の営業利益	795,250

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	賃貸DX プロパティ マネジメント 事業	賃貸DX 賃貸仲介 事業	売買DX インベスト 事業	インキュベ ーション 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,866,789	359,523	8,426,361	2,349	18,655,023	489,124	19,144,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,027	84,797	—	—	105,825	33,816	139,642
計	9,887,816	444,321	8,426,361	2,349	18,760,848	522,941	19,283,790
セグメント利益又は損失(△)	833,788	△70,487	1,200,621	△12,163	1,951,758	△30,938	1,920,819

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産DX事業(システム開発の海外子会社を含む)、少額短期保険事業、ZEH・ライフライン事業を表示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,951,758
「その他」の区分の利益	△30,938
全社費用(注)	△930,487
四半期連結損益計算書の営業利益	990,332

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(重要な後発事象)

重要な後発事象について記載すべきものではありません。